



令和三年師走

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

生徒数

1年	167名
2年	159名
3年	173名
特別支援学級	8名
全校生徒	507名

怒涛の2021年のフィナーレです

校長 遠藤 敏恵

11月10日、合唱コンクールが無事終了しました。今年度も、新型コロナ感染防止対策として、学年ごとの発表、生徒と教職員のみでの開催となりました。直前まで検討を重ねたのですが、屋内で十分に間隔をあけての実施ということもあり、保護者の方々には参観をご遠慮いただくかたちとなりました。1年生の無垢で真っ直ぐな歌声、2年生の凛とした力強い歌声、3年生の感情豊かなバランスの取れたハーモニー…。それぞれのクラスがそのクラスのもつカラーを出しながらの演奏は、まるでクラスで作上げた曲の世界観に連れて行ってくれるかのようでした。合唱は歌声だけでなく、一人ひとりの心も重なり合って1つになるから、聴く者の心を揺さぶるような感動を生み出すことができるのだと思います。コンクール当日を迎えるまでに、教室や音楽室ではたくさんのドラマがあったことでしょう。素敵な演奏をありがとうございました。

合唱コンクールが終了した翌日から、放課後の校長室で3年生の模擬面接が始まりました。私が投げかける1つひとつの質問に、緊張した面持ちで、言葉を選びながら真剣に答える姿に、どの生徒からも、一生懸命に自分の進路と向き合っている様子が伝わってきます。1年生の終わり頃から、ずっと新型コロナの影響を受けてきた学年ですが、「3年間の中学校生活で一番の思い出は何ですか。」の問いに、「1年生の時の館岩自然の教室です。クラスの仲間と学校を離れての共同生活は、ドキドキしたけれど、とても楽しかったです。」や、「3年生の体育祭です。練習時間が短い中で、初めは声も出なかったクラスが、最後はみんなが声を掛け合って、体育祭本番では今までにない数で大縄で跳ぶことができたからです。」等々、様々な答えが返ってきて、ほっとしました。コロナ禍においても、大切な行事が実現することに感謝し、日々学校生活に前向きに取り組んできた生徒たちの健気さに、改めて心が奮い立たされるようでした。6月から延期となり、いよいよ実施が目前となった修学旅行で、3年生の皆さんが中学校生活の集大成として、またどんな学びを深めてくるのか楽しみです。

1年生は館岩自然の教室、2年生は南郷（南会津）自然の教室への準備が、本格的に始まりました。生徒の皆さんの、中学校で初めて行われる宿泊行事への期待と、自分たちの手で成功させるんだという意気込みに、学校中が一気に彩りを増してきたような気がします。2学期、振り返ってみれば、対面とオンラインのハイブリット授業、体育祭、合唱コンクールと、本当に息つく暇もなく、怒涛のようなフィナーレを迎えようとしています。多くの方々のお陰でここまで辿り着くことができました。ありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年も本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。令和4年が、皆様にとって素晴らしい年となりますよう、お祈りいたします。

